

2016年熊本地震に関する「第1回災害調査対応本部会議」を開催しました(2016/4/20)

テーマ：災害調査、2016年熊本地震

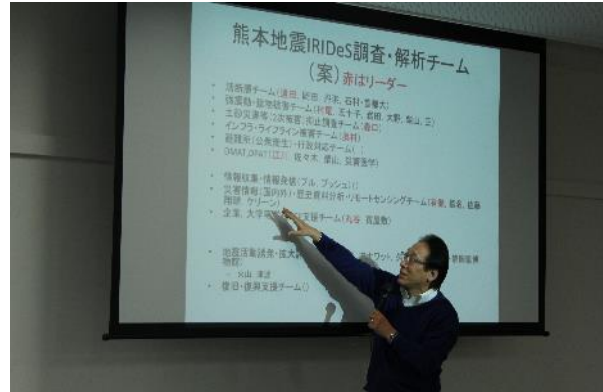
2016年4月14日21:26頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7(M6.5)の地震が発生したほか、翌16日01:25頃に最大震度6強(M7.3)なども相次ぎ、被害が拡大しています。このことを受けまして、当研究所では、同地震災害について研究所としての調査や支援の方針を決定するために、「第1回災害調査対応本部会議」を4月20日10:00に開催し、所内関係者の約60名が参加しました。同会議の結果、

- 2016年熊本地震IRIDeS調査・解析チームの編成
- 第2陣調査チームの調査内容・スケジュール

が決定しました。調査・解析チームは、①現地調査チームとして、「活断層」「強振動・建物被害」「ハード・土砂災害等(2次被害)抑止」「ソフト機能・インフラ・ライフプラン被害」「DMAT, DPAT, 避難所・健康・公衆衛生」、②遠隔調査チームとして、「災害情報」「企業・行政・大学等学校BCP支援」、③今後の影響評価チームとして「地震活動誘発・拡大評価」「復旧・復興支援」が編成されました。①のうち、第2陣調査として、「活断層」や「強振動・建物被害」のほか、「現地ニーズ把握」の調査団の派遣を決定しました。

平成28年(2016年)熊本地震に関する特設ページ

http://irides.tohoku.ac.jp/topics_disaster/2016kumamoto-eq.html



文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）